

2020年度 自己評価結果公表シート

平安女学院大学附属こども園

1、本園の保育・教育標方針

キリスト教の愛の精神を保育の基本に据え、「自分のことばかりでなく他人のことも考えることのできる子ども」を育てていく保育・教育を行います。

- ① 自然とたくさん触れ合うなかで、子どもが自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力や創造力をもっていきいきと活動する
 - ② いろいろな人と一緒に過ごすなかで、自分と友だちや他の人々との違いを認めるとともに、信頼を持つとともに生活する
 - ③ 絵本とたくさん触れ合うことで、豊かな感性をはぐくむ
- 以上の方針に沿って、子どもの自主性や協調性、自己肯定感を育てます。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・保育のねらいを基に、発達に適した環境を整えると共に、一人ひとりの遊びを充実させる
- ・様々な感染症の流行を注視しながら、安心できる環境となるよう、対策を図る
- ・食事を通して色々な食材に触れ、食に対する興味を育む

3、評価項目の取り組み状況及び評価

評価項目	取組状況及び評価
保育のねらいを基に、発達に適した環境を整える	<ul style="list-style-type: none">・発達に即した場となるよう、小園庭に砂場及び水栓を設置した。それにより、遊びの幅が広がった・大園庭に対象年齢が幅広い遊具を設置したことで、乳児も安全に遊べる場となった
子どもたちが安全に過ごせるよう、設備を整える	<ul style="list-style-type: none">・小園庭及び2階テラスに、紫外線対策として日除けを設置した。定期的に点検をしながら、様々な場面に応じて、安全に活用していきたい・0,1歳児保育室の窓に網戸を新設したことにより、害虫の侵入を防ぐことができた。また、照明を追加したことにより、視界がより明るくなり安全性が高まった
一人ひとりの遊びを充実させる	<ul style="list-style-type: none">・様々な活動ができる室内遊具を整えたことで、集団及び個別の遊びがより充実した・個々の遊びが十分に保障されるよう、更なる工夫が必要である

園生活を安全に送れるよう、感染予防に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・園児及び教職員の健康観察を行い、感染予防に関わる情報を周知し、啓発している ・『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル』に従い、換気や消毒を行っている。また、園児同士の距離の取り方等、保育方法や行事の持ち方を工夫した ・パーテーションや非接触型体温計等、感染予防に必要な備品を購入し設置した
五感を通して、食への興味が育くまれるよう、保育内容を工夫する	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培を行い、その生長を通して食材への興味に繋げた ・園児が持つ食への興味が保育者が共感し、より深めることができた
保護者評価委員会を定期的に実施し、園の評価を受け、運営に活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に委員を委嘱し、評価を受けた。その中で上がった要望等について検討し、改善に努めている ・保護者アンケートの対象を広げ、より多くの保護者の意見を把握できるよう、検討する

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・遊具や用具等の設置により、発達に適した環境を整えることができた。引き続き、一人ひとりの遊びが充実するよう、計画を進めていきたい ・その時々状況を鑑みながら、適切な感染予防対策を行った。今後も、動向を伺いながら対応を継続していく

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
発達に即した環境作りを行う	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に過ごすことができるよう、必要な設備の改善を行う
保護者の評価を詳細に把握する	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、保護者評価委員に依頼していた保護者アンケートの対象を広げ、全保護者対象となるように準備する。また、アンケートに答えやすいよう、方法を探って実施する
園児にとってより居心地の良い場となるよう、教職員が研鑽を積む	<ul style="list-style-type: none"> ・園内外の研修を受けて、保育の質の向上を図る ・クラス別会議や全体会議等を定期的に行い、情報の共有を図る

6、保護者評価アンケート結果

[保護者評価概要]

評価者：5名（保護者評価委員）

評価方法：アンケート用紙に記入後、園に提出

評価内容：普段、見て頂いている保育の様子から評価してもらう。

集計した点数を5で割った物を評価とした。この結果を改めて保護者評価委員に報告した

	評価項目	評価
1	園の保育・教育目標や方針はわかりやすい	4.8
2	お子さんは園に行くことを喜んでいる	5
3	お子さんは園で好きな友達や先生がいる	4.8
4	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっている	5
5	園は、保育・教育内容やいろいろな活動・行事を工夫している	4.8
6	園で提供される食事やおやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっている	4.4
7	教職員はお子さんの気持ちを聞いたり、要求に応じたりするなど、一人ひとりを大切にしながら対応している	5
8	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなった時の教職員の対応は信頼できる	4.8
9	教職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	5
10	お子さんが遊びを通して学ぶ環境になっている	5
11	園の安全対策が十分取られている	4.2
12	園内は清潔で整理された空間になっている	5
13	園は、子どもたちの様子を状況に応じて家庭に連絡したり、子育て情報を提供したりしている	4.8
14	教職員は、保護者と適切にコミュニケーションをとり、連携を図っている	4.8
15	子育て相談など、困った時に教職員に相談できる	4.6
16	保護者からの具体的な意見や要望に、適切に対応している	4.6
17	お子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を教職員は守っている	4.8
18	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることを分かりやすく伝えてくれましたか	3.375
備考	○子どもが顔に怪我をした時、教職員から説明がない時があった。あまり気にしていないが、顔の場合は報告して欲しい。後から傷が赤くなったり、本人が教職員に伝えていない時もあるが、他の子どもの事も思うと、しっかり報告して欲しい。	
	○こども園になってから園内が綺麗になったが、観察林駐車場から階段を上がった所のフェンスが気になる。鍵もかけにくいので、もう少しちゃんとした物の方が良い。	

評価方法 5:非常にあてはまる 4:あてはまる 3:どちらでもない 2:あてはまらない 1:全くあてはまらない

<アンケート結果を受けて（園より）>

- ・園児の様子を丁寧に観察し、体調の変化や怪我があれば保護者に報告するように、教職員間で再確認を行う
- ・安全対策について、様々な観点から見直し、より安心できるような対策を検討していく

7、財務状況

公認会計士による監査の結果、適正であると認められている。